

## 鋼板断熱外皮システムの建築・部位への適用拡大に関する研究

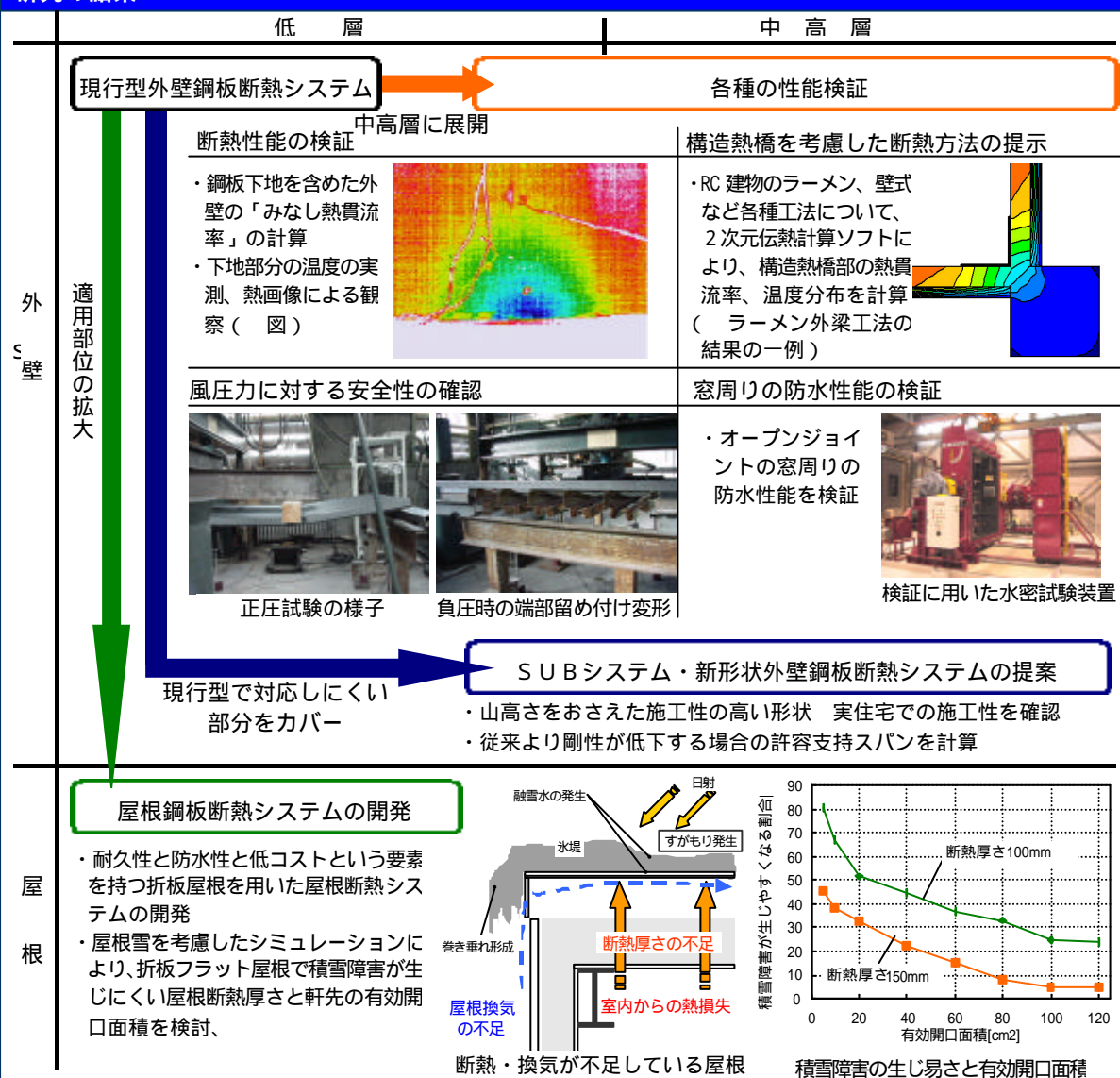
共同研究機関名 日新製鋼株式会社、日新総合建材株式会社  
札幌シートフレーム株式会社

担当部科 環境科学部 居住環境科、生産技術部 生産システム科

### 研究の目的

平成 11～13 年度の研究で、薄板鋼板を用いた低層建物の断熱外皮システムを確立しました。本研究では、地域生産、高耐久、再資源性の観点から有意性のある現行型のシステムを、中高層の事務所、マンション、学校建築など規模や用途が異なる建物へ、また外壁だけではなく屋根など他の部位へと適用の拡大を図り、総合的な高性能断熱外皮システムとしての完成を目指すことを目的としています。

### 研究の結果



### 活用方法・成果

これまで鋼板を用いた外壁断熱システムの成果は、2000年の富良野市北の峰団地を初めに2003年3月現在で21物件に上っています。建物用途は公営住宅を中心に、学校建築、事務所建築、庁舎建築など多岐に渡っており、本研究で明らかになった性能をふまえ、中高層建物への適用や、屋根などの部位へと展開していくことが可能となります。